

JFPI REPORT

No.194
2026 JANUARY
1月号

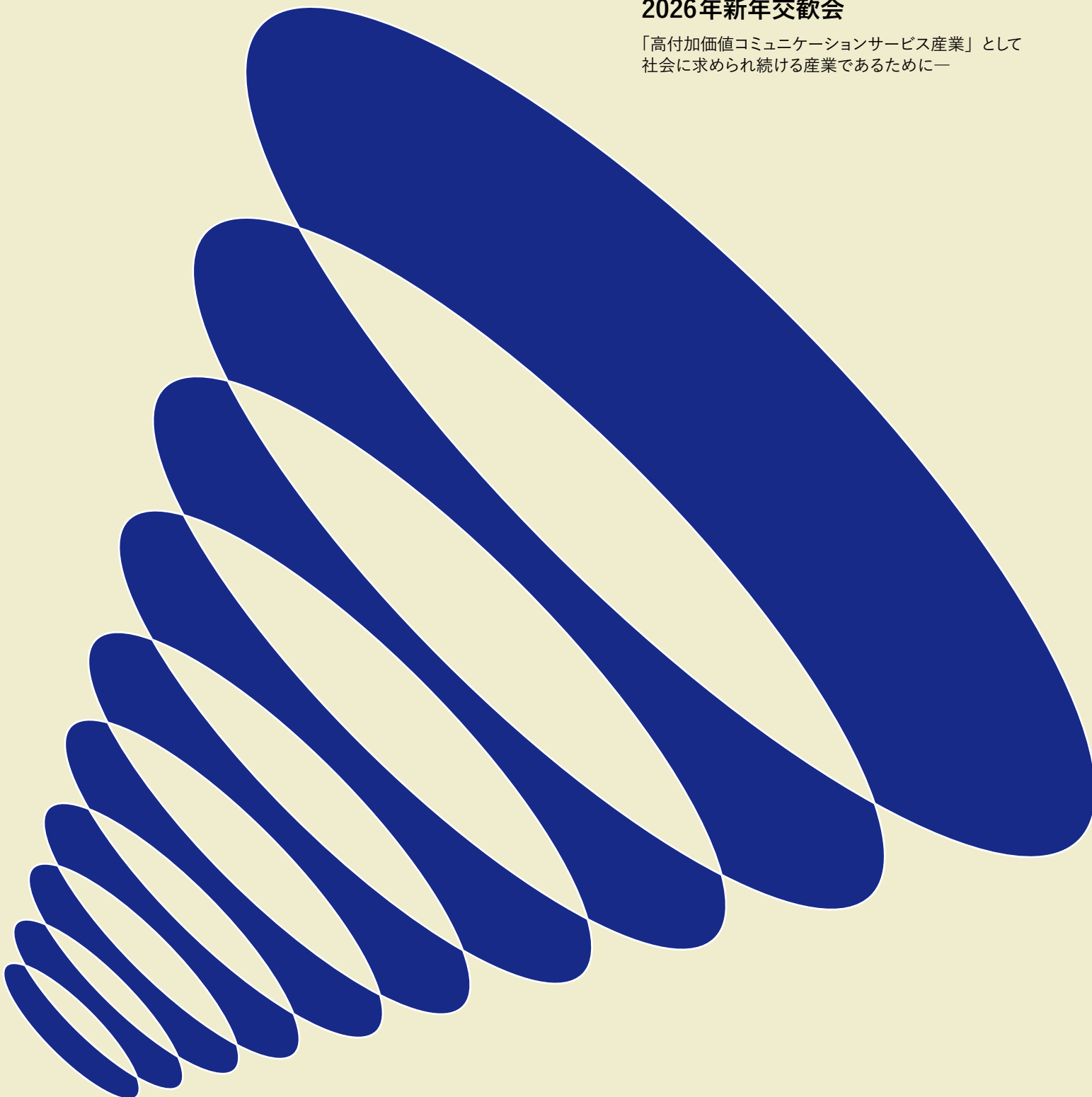
念頭所感2026年

一般社団法人 日本印刷産業連合会 会長 磨 秀 晴

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課
クリエイティブ産業室長 荻野 洋平

2026年新年交歓会

「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として
社会に求められ続ける産業であるためにー



2 年頭所感 2026年

一般社団法人 日本印刷産業連合会 会長 磨 秀晴

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課 クリエイティブ産業室長 萩野 洋平

4 2026年 新年交歓会

「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として
社会に求められ続ける産業であるために―

17 情報BOX

2026年度 (一社)日本印刷産業連合会 会員10団体 主要行事日程

／ 2026年度 会員団体 主要行事日程／ 2026年度 日印産連主催コンクール

18 下請法は取適法へ

20 グリーンプリンティングニュース

2025 GP環境大賞等表彰式・「印刷と私」トークショー開催

24 新たなビジネス事例

印刷イノベーション最前線! 第3回

デジタル化で出版のサプライチェーンに革新もたらす 株式会社フォーネット社

28 プライバシーマークニュース

個人情報保護マネジメントシステム内部監査員セミナー 2026年2月27日(東京) 開催のお知らせ
／ プライバシーマーク付与事業者のご紹介／ 情報セキュリティに関する活動のご紹介

32 会員ニュース

印刷工業会／全印工連／日本フォーム工連／ジャグラ／全製工連／全日本シール／
全国グラビア／GCJ／全日本スクリーン・デジタル／全日本光沢化工紙

37 JFPI-NOTE (2025年10月～12月)

40 事務局だより

二〇二六年 年頭所感

一般社団法人 日本印刷産業連合会

会長 磨 秀 晴



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、日本印刷産業連合会（日印産連）の運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、好調なインバウンド需要や高水準の賃上げが景気を支える一方、物価上昇と人手不足が景気全体の回復を鈍らせました。

印刷産業においても、急激な労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇が各企業に大きな影響を与えており、物価上昇分を確実に価格転嫁していくことが喫緊の経営課題となりました。

政府は、物価高に負けない賃上げと、国内への成長投資が進む環境を作ることを経済政策の最重要課題として、サプライチェーン全体での価格転嫁・取引適正化に徹底的に取り組むよう、すべての産業に要請しています。

また、本年1月1日より「下請法」が改正され、「中小受託取引適正化法（通称「取適法」）」として施行されました。中小受託事業者における賃上げの原資の確保と利益保護を目的として、中小受託取引の適用対象が拡大し、義務内容・禁止行為が厳格化されています。特に手形払いについては禁止となり、支払い期日の厳守が求められることとなりました。「取適法」および自主行動計画の遵守に向け、発注側・受注側ともに積極的に協議の場を設けていただくようお願いいたします。

一方で印刷産業は受注産業であり、サプライチェーンの頂点となる発注元への働きかけが欠かせません。日印産連は主要発注元の業界団体に対して、価格転嫁と商習慣の見直し等、取引適正化の協力要請に取り組んでまいり所存です。会員10団体並びに賛助会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

社会全体のDXやAI活用が進み、事業環境だけではなく、人々の生活までも大きく変わっていきなで、我々印刷産業は長年培われた印刷技術を核に、時代の変化に対応した事業ポートフォリオ変革に取り組まなければなりません。「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として社会に求められ続ける産業であるために、会員10団体が力を合わせサプライチェーン全体での取引適正化に取り組み、新たな価値創出、事業領域の拡大に向けた連携・共創を推進します。

日印産連は本年も、印刷産業の価値向上と持続可能な社会の実現に向けて、関係省庁、会員10団体、賛助会員、関係業界団体の皆様と共に様々な活動を行ってまいりますので、皆様には引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、さらなるご発展とご健勝を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課

クリエイティブ産業室長 萩野 洋平



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

印刷産業の皆様におかれましては、平素より弊省の政策にご協力を賜りありがとうございます。

我が国では、数年間にわたるDX、GX等の成長分野への積極投資が芽吹き、名目GDPが一昨年初めて600兆円の大台を超えるなど、明るい兆しも現れ始めています。こうした流れを着実なものとするべく、本年の経済政策の最重要課題の一つとなるのは、物価高に負けない賃上げや、国内への成長投資が進む環境を作ることです。昨年の高市総理の所信表明演説においても、「更なる取引適正化等を通じ、賃上げと設備投資を強力に後押しします」との力強いメッセージが示されました。

他方、昨年9月の価格交渉月間の調査では、印刷業の価格交渉の実施状況の数字は、改善しているものの、他業種と比べて低くなっており、「発注減少や取引停止を恐れ、交渉を申し出なかった。」という声も聞かれています。印刷業は、受注産業であり、サプライチェーンの頂点は、あらゆる分野の産業と言えます。経済産業省としては、今後とも業界の皆様と強く連携し、これまで以上に、価格交渉しやすい環境の醸成に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、発注元となる他の業界に対しても、我々と連携しながら、取引適正化に向けた協力を呼びかけてまいります。

さて、制作年が明確な現存世界最古の印刷物とされるのは、奈良時代の藤原仲麻呂の乱鎮定後に印刷された、「百万塔陀羅尼」です。称徳天皇の発願により官営事業で作られた、百万基ともされる小塔には、印刷により量産された「陀羅尼經」が収められました。日本の印刷文化は、その曙において発注元が「官」であったことは興味深く、文字・図像等情報の保存と伝達を役目とする印刷産業の歴史は、官公需とともにあったと言えます。

官公需の発注については、経済産業省も当事者となります。国、地方自治体においても適切な価格転嫁が行われるよう、経済産業省としても必要な対応にしっかり取り組んでまいります。

地方を中心に、価格転嫁はおろか、価格が下げ止まらないという声が聞かれます。この対策として、自治体における低入札価格調査制度や最低制限価格制度の導入が重要となってきますが、これらは各自自治体において適切に予定価格が算出されて初めて機能します。過度な競争により実勢価格と乖離した予定価格の積算がされないよう、官公需に参加される事業者の皆様には、具体的な根拠に基づいた積算を行っていただき、適正な価格形成がされるよう、ご協力をお願いいたします。

物価上昇に負けない賃上げを起点として、国民の所得と経済全体の生産性向上を図るという成長戦略、その要が価格転嫁・取引適正化であり、サプライチェーンの隅々まで行き届くよう、皆様にはぜひリーダーシップを発揮していただきたい点、改めてお願いします。

最後になりましたが、皆様のご多幸と事業のますますの御発展を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

2026年 新年交歓会

「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として 社会に求められ続けるために

一般社団法人日本印刷産業連合会(鷹 秀晴会長)は、1月7日(水)午後4時30分から東京・虎ノ門のThe Okura Tokyo 平安の間で、経済産業省をはじめとする政界・産業界からのご来賓や、日印産連会員10団体の皆様並びに賛助会員や関連業界団体の皆様など、多数の参加者をお迎えし「2026年新年交歓会」を開催した。

主催者である日印産連 鷹会長の代表挨拶、経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 商務・サービス政策統括調整官の江澤正名氏による来賓祝辞に続き、乾杯のご発声を一般社団法人 日本印刷産業機械工業会の森澤彰彦会長が務めた。開宴後の会場では、海江田万里 衆議院議員、山田美樹 前衆議院議員からのご祝辞や多くの祝電が披露されるなど、新年にふさわしい笑顔と活気あふれる会となった。

宴の終盤には、例年に倣い会員10団体の会長の皆様が壇上にそろい、記念撮影が行われた。全日本印刷工業組合連合会 瀬田章弘会長の中締めのご挨拶と音頭によって、息のあった1本締めが会場を満ち、2026年の新年交歓会は終了した。

主催者代表のご挨拶

主催者を代表して新春の挨拶に立った鷹会長は、新年交歓会開催の喜びとご出席いただいた方々への感謝を述べたのち、「昨年の日本経済は、好調なインバウンド需要や高水準の賃上げが景気を支える一方、物価上昇と人手不足が景気全体の回復を鈍らせました。印刷産業におきましても、急激な労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇が各企業に大きな影響を与えており、物価上昇分を確実に転嫁していくことが喫緊の課題となりました。」

また、本年1月1日より「下請法」が改正され、中小受託取引適正化法、通称「取適法」として施行されました。中小受託事業者における賃上げの原資の確保と利益保護を目的として、適用対象が拡大し、義務内容・禁止行為が厳格化されます。「取適法」および自主行動計画の遵守に向け、発注側・受注

側ともに、積極的に協議の場を設けていただくよう、お願いいたします。

今後さらに、事業環境や人々の生活様式が大きく変わっていくなかで、我々印刷産業は長年培われた印刷技術を核に、時代の変化に対応した事業変革に取り組まなければなりません。「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として社会に求められ続けるために、会員10団体が力を合わせ、サプライチェーン全体での取引適正化に取り組み、新たな価値創出と事業拡大に向けた連携・共創を推進して参りましょう」と述べ、日印産連へのさらなる支援と協力を仰ぎ、参会の皆様のいっそうの活躍を祈念し年頭の挨拶とした。

ご来賓祝辞

ご来賓を代表し経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス政策統括調整官の江澤正名氏より祝辞をいただいた。新年交歓会開催へのお祝いの言葉に続き「我が国では、数年間にわたるデフレの状況の中で、DXやGXといった成長分野の積極投資が芽吹きまして、一昨年に名目GDPが600兆円を超え、今はそれが700兆円を目指す勢いで伸びています。駿馬が野を駆けるように、この印刷業界もますます成長軌道へと乗っていただければと思います。」

本年の経済政策の最重要点のポイントは「物価高に負けない賃上げ」です。国内の成長投資をしっかりと行っていくことが重要だと考えております。昨年発足しました高市政権の所信表明において、さらなる取引の適正化、賃上げと設備投資を強力に後押しするという力強いメッセージを示したところです。賃上げを起点として、国民所得と経済全体の生産性を上げていこう



主催者を代表して挨拶する鷹 秀晴会長



ということであり、そのための成長戦略ということです。その要になるのが価格転嫁であり、まとめますと「賃上げ」「設備投資」「価格転嫁」の3つが経済活性化の鍵になると考えております。

価格転嫁につきまして昨年9月に印刷業界の皆様に行ったアンケート調査では、価格見直しの提案もあり真摯な対応で値上げが実現したという前向きな意見も聞かれました。価格交渉の実施状況や数字も改善しているところです。ただし、印刷業界は他業種と比べますと依然低いところですので、引き続き積極的に取り組んでいただきたいと思います。印刷業界は業界内で閉じられた業界ではありません。経済産業省としても、発注元となる他の業界や地方自治体と連携して、価格交渉しやすいような環境を作り価格転嫁の流れになるような環境整備に努めて参りたいと思います。

経済産業省は力強い経済を実現するために、設備投資・省力化投資への支援策を講じています。令和8年度の税制改正において、大胆な設備投資促進税制を創設しました。これは全業種が対象であり、大企業であれば35億円以上、中小企業であれば5億円以上の設備投資に対して、7%の税額

控除もしくは即時消去が可能になります。長期・大規模な投資にご活用いただけるものと考えています。ただし、この税制を活用していただくためには、投資の計画を経済産業省が認定することになっていますので、こういった投資をして長期成長につなげたいということがあれば、ぜひ経済産業省にご相談いただければと思います。



来賓祝辞／江澤正名 経済産業省
商務・サービス政策統括調整官

もうひとつ研究開発税制がございます。印刷は紙の印刷に留まらずいろいろなものに使われますし、各社で研究開発に取り組まれていると思います。研究開発を含む前向きな投資で企業・業界の成長につなげていただければと思います。

生産性向上については、ものづくり補助金や省力化補助金などがあります。生産性を向上させて製品の高付加価値化も図りつつ、人手不足や人口減少を設備投資で乗り切っていたくことであるとか、エネルギーコストも非常に高い状況にあるなか、こうした施策をご活用いただき、企業と皆様の業界の発展につなげていっていただければと思います。

国民生活に身近な印刷産業がますます発展するように、芽吹き始めた日本経済の明るい兆しが力強く伸びて経済をいっそう活性化していく、そんな一年にしていきたいと思っております。良い年にしていきましょう」と結び、会場から大きな拍手が沸き起こった。

懇親会 開宴

各テーブルに乾杯用の飲み物が準備され、一般社団法人 日本印刷産業機械工業会の森澤彰彦会長より「穏やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日本印刷産業機械工業会は皆様大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。

私どもは国内生産の50%を輸出に頼っておりまして、



乾杯のご発声／一般社団法人
日本印刷産業機械工業会の
森澤彰彦会長

昨年来、関税から始まり日中関係の悪化と非常に苦しい一年を過ごして参りましたが、苦しい中でも皆様と一緒に印刷産業を盛り上げる活動を継続してまいりました。今年の干支は丙午ということで情熱と行動力というキーワードがよく出てきます。また



祝辞／海江田万里 衆議院議員



祝辞／山田美樹 前衆議院議員

リーダーシップをとまなっているいろいろな状況を打破していく年とも考えております。

日本印刷産業連合会様のグランドデザインには2030年に印刷産業のあるべき姿に生まれ変わろうとあるとお聞きしています。私ども皆様と伴走させていただき、将来の印刷産業のあるべき姿を一緒に作り上げていければ幸いです」とのご挨拶があり、続く「乾杯!」のご発声によって新年交歓会にはぎやかに開宴した。

会の途中には、海江田万里 衆議院議員と山田美樹 前衆議院議員の両名より印刷業界への愛情あふれる祝辞をいただくなど、ほかにも多くの祝電が披露され、温かい和やかな会となった。

中締めのご挨拶

賀詞交換や談笑に包まれて賑わった会も午後6時に中締めを迎え、恒例により日印産連会員10団体の会長が壇上に紹介され記念撮影が行われた。会場からの声援もあり打ち解けた雰囲気の中、全日本印刷工業組合連合会 瀬田章弘会長が代表して中締めの挨拶を行った。「今年は丙午ということで丙



午生まれの私が中締めのご挨拶をさせていただきます。冒頭にあった磨会長からのお話の通り、今年は10団体一丸となって、我々の様々なお客様の業界団体に対して価格転嫁を行って、持続的な経営ができるようにしましょう。そしてまず何よりも頑張ってくれている社員の賃上げ、そして設備投資。皆さんと共に“よい循環”を作っていきたいと思います。そのために会員10団体集まって力を合わせて参りましょう」の言葉に続き、江戸十締め一本によって2026年の新年交歓会は晴れやかに終了した。



中締めのご挨拶／
全日本印刷工業組合連合会 瀬田章弘会長



会員10団体の会長が登壇

2026年

新年協賛特集



謹んで新春のご祝詞を申し上げます

すべてを突破する。
TOPPA!!!
TOPPAN

TOPPANホールディングス株式会社
<https://www.holdings.toppan.com/ja/>

TOMOWEL
共同印刷株式会社

イノベーションも、サステナビリティも
支える、トモウェル。

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12
Tel:03-3817-2111(代) <https://www.kyodoprinting.co.jp/>

DNPの一面!

DNP FUTURE PRESS

地球への想い、
フィルムに
重ねて。

半導体は
浪漫だ

人生を
XPR?
拡張する

薬! DNPと

大日本印刷

未来のあたりまえをつくる。 DNP

DNPの一面

Ever-Changing - Showa Ink group -



 株式会社 昭和インク工業所
昭和インク工業 株式会社

本社 〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-20-20
電話 0748-86-8500(代) <https://showaink.jp>

謹んで新春のご祝詞を申し上げます



動きと輝きを持ったスクリーン印刷
スクリーン印刷のイメージが変わりました。

内藤プロセス株式会社

代表取締役 内藤 正和

〒332-0003 埼玉県川口市東領家2-16-8 Tel:048-224-7145 Fax:048-224-5105
www.naito-p.co.jp

お客様の価値創造と
事業成長への貢献を目指して



コニカミルタ ジャパン株式会社

代表取締役社長 一條 啓介

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目1番1号
BLUE FRONT SHIBAURA TOWER 5
TEL.03-6311-9061 (プロフェッショナルプリント事業部)

機会をつくり、未来を照らす。

株式会社 太陽機械製作所



代表取締役社長 岡倉 登

〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-8-2
羽田メンテナンスセンター 4階

Tel. 03-6825-6127 Fax. 03-5708-7607

<https://www.taiyo-kikai.co.jp>



お客様の感性に響く価値を、
挑戦と共創でかたちにする

東洋インキ株式会社

代表取締役社長 安田 秀樹

artience
TOYO INK

〒104-8378 東京都中央区京橋2-2-1
Tel: 03-3272-3435 Fax: 03-3272-3436
www.artiencegroup.com

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

FUJIFILM
Value from Innovation

**ビジネス DX が、
企業を一気に強くする。**

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

取締役 執行役員

グラフィックコミュニケーション事業本部
事業本部長

木田 裕士

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3 Tel.03-6271-5111 (代表)

www.fujifilm.com/fb

FUJIFILM
Value from Innovation

お客様の「踏み出す力」になる。

価値ある情報、豊富な知見、確かな技術で。

一緒に答えを導き出す会社へ。

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

代表取締役社長

山田 周一郎

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300

ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>



2026年 新年協賛特集

IT時代の
ディスクロージャー情報を
活性化する



宝印刷株式会社

代表取締役会長

堆 誠一郎

代表取締役社長

白井 恒太

〒171-0033 東京都葛飾区高宮3-28-8
電話 03(3671)3101
札幌・名古屋・大阪・広島・福岡
URL <https://www.takera-print.co.jp/>

TOPPAN

世界を、彩り豊かに

ものづくりのDNAで、コミュニケーションをカタチづくる

TOPPANクロレ株式会社

代表取締役社長 岡沢 宏和

〒114-0001 東京都北区東十条3-10-36
TEL 03 (5843) 9700



株式会社田中紙工

頑固にしなやかに、実直品質。

確かな技術と工程管理でお客様の「ものづくり」を支えます

代表取締役社長 田中 眞文

【本社】 〒335-0035 埼玉県戸田市荻目南町27-4
TEL: 048-483-4852 FAX: 048-483-4853
HP : <https://www.tanakashikou.co.jp/>

お客様のニーズにこたえ、社員とともに
社会との共生をめざす



大日本パッケージ株式会社
DAINIHON PACKAGE CORPORATION

代表取締役社長 諸石 武士

〒343-0002 埼玉県越谷市平方 1004-11 TEL 048 (973) 0301



日本パッケージ株式会社

代表取締役社長 湯本 雄一

〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽 2100-30 TEL 0480 (48) 0680

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

小さくても
光る会社で
ありたい。



アート印刷株式会社

〒105-0014 東京都港区芝3-3-15 芝MONTビル
TEL03-3454-1811(代) FAX03-3454-1830
アートグループ：三巧印刷 好学社 医学教育出版社



SENSHU

**BEST
PROMOTION
PARTNER**

代表取締役社長

下谷 友康

株式会社 千 修

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-4
<https://www.senshu-g.co.jp>

人生100年をもっと豊かに



KOSAIDO HOLDINGS

株式会社広済堂ホールディングス

〒105-8318 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館13F
TEL 03-3453-0550 <https://www.kosaido.co.jp>

いかなる時も社会とマーケットから信頼され、
誇りと創意と感謝に溢れた人間集団であり続けたい



株式会社 金羊社

取締役会長 浅野 健

代表取締役社長 栗本 茂

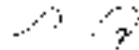
本社：〒146-8577 東京都大田区駒沢4-2-4 Tel.03-3750-2101 Fax.03-3482-7033
工場：〒412-0847 静岡県沼津市岩崎2-1 Tel.0550-89-3434 Fax.0550-89-5098

<https://www.kinyosha.co.jp>



共立速記印刷株式会社

代表取締役会長 吉岡 新 

代表取締役社長 笹井 靖夫 

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24
PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740
<https://www.ksi21.com>

オンデマンドプリンター / シール・ラベル印刷機 /
ビジネスフォーム印刷機 / 各種加工機 / 特殊印刷機 /
各種伝票・包装・パッケージ・商業印刷・書籍・他



代表取締役社長 宮腰 亨

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 1-13-5
TEL : 047-493-3854 (代表)
<http://www.miyakoshi.co.jp/>

RICOH
imagine. change.

執行役員
デジタルサービス企画本部 副本部長
デジタルサービス企画本部 PP事業部 事業部長

泥谷 謙司

リコージャパン株式会社
〒104-6033 東京都中央区晴海1-8-10
晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 33F
<https://www.ricoh.co.jp/pp>

新年協賛広告掲載企業（五十音順）

アート印刷株式会社

共同印刷株式会社

共立速記印刷株式会社

株式会社金羊社

株式会社広済堂ホールディングス

コニカミノルタジャパン株式会社

株式会社昭和インク工業所

株式会社千修

大日本印刷株式会社

大日本パッケージ株式会社

株式会社太陽機械製作所

宝印刷株式会社

株式会社田中紙工

東洋インキ株式会社

TOPPAN クロレ株式会社

TOPPAN ホールディングス株式会社

内藤プロセス株式会社

富士フイルムグラフィックソリューションズ
株式会社

富士フイルムビジネスイノベーション
株式会社

株式会社ミヤコシ

リコージャパン株式会社

2026年度（一社）日本印刷産業連合会／会員10団体 主要行事日程

※下記日程については変更になる場合もございます。当該団体にご確認ください。

開催日	時間	会議・行事名	会場
2026年			
5月20日(水)	13:20～ 14:00～ 【15:00～16:00】	日本印刷会館 株主総会 印刷工業会 定期総会・理事会 第1回 理事会	日本印刷会館 2階会議室 日本印刷会館 2階会議室 日本印刷会館 2階会議室
6月10日(水)	14:00～14:45 【15:00～15:45】 【15:45～16:10】	印刷図書館 定時評議員会・理事会 第41回 定時総会 第2回 理事会 総会懇親会	ホテルニューオータニ「おり鶴」 ホテルニューオータニ 「おり鶴」(総会・舞の間) (懇親会・麗の間)
7月29日(水)	14:30～ 【15:00～16:00】	印刷工業会 常任理事会 第3回 理事会	日本印刷会館 2階会議室 日本印刷会館 2階会議室
9月9日(水)	【15:30～17:50】 【18:00～19:15】(予定)	2026年「9月印刷の月」講演会・記念式典 同 懇親会	ホテルニューオータニ「鶴の間」
2027年			
1月7日(木)	【16:30～18:00】	2027年 新年交歓会	The Okura Tokyo「平安の間」
3月17日(水)	14:30～ 【15:00～16:00】	印刷図書館 理事会 第4回 理事会	日本印刷会館 2階会議室 日本印刷会館 2階会議室

2026年度 会員団体 主要行事日程

(改…役員の改選期)

印刷工業会	改 <input type="checkbox"/> 理事会・合同部会・セミナー・懇親会 <input type="checkbox"/> 定期総会・理事会 <input type="checkbox"/> 常任理事会 <input type="checkbox"/> 年末会員懇談会	4月15日(水) ●明治記念館 5月20日(水) ●日本印刷会館 7月29日(水) ●日本印刷会館 12月2日(水) ●明治記念館
全日本印刷工業組合連合会	改 <input type="checkbox"/> 総会 <input type="checkbox"/> 全国大会(全日本印刷文化典沖縄大会) <input type="checkbox"/> 新年会	5月27日(水) ●東京會館 10月16日(金)～17日(土) ●沖縄ハーバービューホテル 未定
日本フォーム印刷工業連合会	改 <input type="checkbox"/> 総会・懇親会 <input type="checkbox"/> 夏季講演会・懇親会 <input type="checkbox"/> 新春講演会・懇親会	5月21日(木) ●ホテル椿山荘東京 8月20日(木) ●ホテル椿山荘東京 2027年 1月21日(木) ●ホテル椿山荘東京
(一社)日本グラフィックサービス工業会	改 <input type="checkbox"/> 総会・全国大会	6月20日(土) ●リーガロイヤルホテル大阪
全日本製本工業組合連合会	改 <input type="checkbox"/> 総会 <input type="checkbox"/> 全国大会 <input type="checkbox"/> 新年会	6月5日(金) ●日本印刷会館 — 未定 (2027年度開催予定)
全日本シール印刷協同組合連合会	<input type="checkbox"/> 総会 <input type="checkbox"/> 全国大会	5月29日(金) ●上野精養軒 10月16日(金) ●東京ビッグサイト (ラベルフォーラムジャパンと同時開催)
全国グラビア協同組合連合会	<input type="checkbox"/> 通常総会・理事会・懇親会 <input type="checkbox"/> 新年会	6月11日(木) ●札幌グランドホテル 未定
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	<input type="checkbox"/> 通常総会 <input type="checkbox"/> 新年会	5月25日(月) ●出版クラブホール 未定
全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会	<input type="checkbox"/> 総会・全国大会 <input type="checkbox"/> 新年会	5月28日(木) ●プレミアムホテルTSUBAKI札幌 未定
全日本光沢化工紙協同組合連合会	改 <input type="checkbox"/> 総会	5月26日(火) ●東京會館

2026年度 日印産連主催コンクール

2026年5月29日(金) 【JPC】表彰式
2026年9月28日(月) 【造本装幀コンクール】表彰式
2026年10月末(予定) 【GP環境大賞】等 表彰式
2027年1月下旬(予定) 【全国カレンダー展・全国カタログ展】表彰式・展示会

下請法は取適法へ

令和8年1月1日 スタート!

1. 下請法改正の背景・趣旨等

11月28日に実施された価格転嫁・取引適正化に関するハイレベル面談にて①取適法違反がないかの自主点検 ②取適法、新たな規制の周知 ③価格転嫁を阻害する商慣習の見直し ④サプライチェーンの頂点となる企業の責任ある行動 ⑤自主行動計画の改訂および遵守、パートナーシップ構築宣言の実施 ⑥労務費転嫁指針の遵守 の6項目を要請されました。

ここでは特に②にこたえるため、改めて下請法の改正内容についてお知らせいたします。

■近年の急激な労務費、原材料費、エネルギー費等の上昇を受け、「物価上昇を上回る賃上げ」を実現するためには、事業者において賃上げの原資の確保が必要。

■中小企業をはじめとする事業者が各々賃上げの原資を確保するためには、サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を定着させる「構造的な価格転嫁」の実現を図っていくことが重要。

■協議に応じない一方的な価格決定行為など、価格転嫁を阻害し、受注者に負担を押しつける商慣習を一掃していくことで、取引を適正化し、価格転嫁をさらに進めていくため、下請法の改正を検討してきました。

2. 下請法改正事項の概要

① 協議に応じない一方的な代金決定の禁止

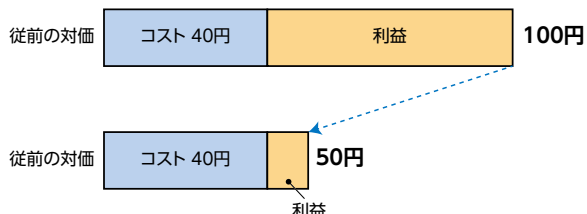
【改正理由】

- コストが上昇している中で、協議することなく価格を据え置いたり、コスト上昇に見合わない価格を一方的に決めたりするなど上昇したコストの価格転嫁についての課題がみられる。
- そのため、適切な価格転嫁が行われる取引環境の整備が必要。

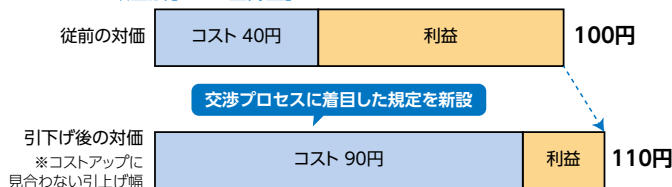
【改正内容】

- 「市価」の認定が必要となる買いたたきとは別途、対等な価格交渉を確保する観点から、中小受託事業者から価格協議の求めがあったにもかかわらず、協議に応じなかったり、委託事業者が必要な説明を行わなかったりするなど、一方的に代金を決定して中小受託事業者の利益を不当に害する行為を禁止する規定を新設する。

■ 現行【対価引き下げ型】



■ 改正法【コスト上昇型】



【運用基準(案)】「当該協議に応じず」中小受託事業者からの協議の求めを明示的に拒む場合のほか、例えば、協議の求めを無視したり、協議の実施を繰り返し先延ばしにしたりして、協議の実施を困難にさせる場合を含む。

② 手形払等の禁止

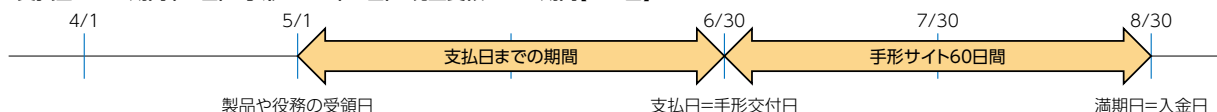
【改正理由】

- 支払手段として手形等を用いることにより、発注者が受注者に資金繰りに係る負担を求める商慣習が続いている。

【改正内容】

- 中小受託事業者の保護のためには、今般の指導基準の変更を一段進め、本法上の支払手段として、手形払を認めないこととする。
- 電子記録債権やファクタリングについても、支払期日までに代金に相当する金銭(手数料等を含む満額)を得ることが困難であるものについては認めないこととする。

■ 現行 支払日までの期間(60日)+手形サイト(60日)=現金受領までの期間【120日】



■ 改正法 支払日までの期間(60日)=現金受領までの期間【60日】



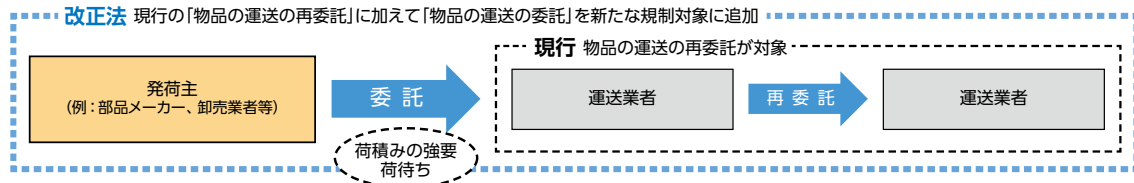
③ 運送委託の対象取引への追加 (特定運送委託)

【改正理由】

- 発荷主から元請運送事業者への委託は、本法の対象外（独占禁止法の物流特殊指定で対応）である。
- 立場の弱い物流事業者が、荷役や荷待ちを無償で行われているなど、荷主・物流事業者間の問題（荷役・荷待ち）が顕在化している。

【改正内容】

- 発荷主が運送事業者に対して物品の運送を委託する取引を、本法の対象となる新たな類型として追加し、機動的に対応できるようにする。



④ 従業員基準の追加

【改正理由】

- 実質的には事業規模は大きいものの当初の資本金が少額である事業者や、減資をすることによって、本法の対象とならない例がある。
- 本法の適用を逃れるため、受注者に増資を求める発注者が存在する。

【改正内容】

- 適用基準として従業員数の基準を新たに追加する。
- 具体的な基準については、本法の趣旨や運用実績、取引の実態、事業者にとっての分かりやすさ、既存法令との関連性等の観点から、従業員数300人（製造委託等）又は100人（役務提供委託等）を基準とする。

製造委託	修理委託	特定運送委託	情報成果物作成委託（プログラム）	役務提供委託（運送・倉庫保管・情報処理）
資本金3億円超				資本金3億円以下（個人含む）
委託事業者	資本金1千万円超3億円以下			中小受託事業者
	常時使用する従業員300人超			常時使用する従業員300人以下（個人含む）

情報成果物作成委託（プログラム除く）	役務提供委託（運送・倉庫保管・情報処理除く）
資本金5千万円超	資本金5千万円以下（個人含む）
委託事業者	中小受託事業者
	常時使用する従業員100人超
	常時使用する従業員100人以下（個人含む）

【運用基準（案）】常時使用する従業員の数 労働基準法第108条に基づいて調製が義務付けられている賃金台帳の調整対象となる者の数によって算定するものとする。

⑤ 「下請」等の用語の見直し

【改正理由】

- 本法における「下請」という用語は、発注者と受注者が対等な関係ではないという語感を与えるとの指摘がある。
- 時代の変化に伴い、発注者である大企業の側でも「下請」という用語は使われなくなっている。

【改正内容】

- 用語について「親事業者」を「委託事業者」、「下請事業者」を「中小受託事業者」、「下請代金」を「製造委託等代金」等に改正する。
- 法律の題名も、「下請代金支払遅延等防止法」を「製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律」に改正する。

⑥ その他の改正事項

- 専ら製品の作成のために用いられる木型、治具等についても、金型と同様に製造委託の対象物として追加する。
- 書面等の交付義務について、中小受託事業者の承諾の有無にかかわらず、**必要的記載事項を電磁的方法により提供可能とする。**
- 遅延利息の対象に減額を追加し、**代金の額を減じた場合、起算日から60日を経過した日から実際に支払をする日までの期間について、遅延利息を支払わなければならないものとする。
- 既に違反行為が行われていない場合等の勧告に係る規定を整備し、勧告時点において委託事業者の行為が是正されていた場合においても、再発防止策などを勧告できるようにする。

【運用基準（案）】振込手数料の負担 現行の運用においては、振込手数料を中小受託事業者が負担する旨の書面での合意がある場合には、委託事業者が負担した実費の範囲内で振込手数料を差し引いて製造委託等代金を支払うことが認められているところ、企業取引研究会報告書の提言に基づき、運用基準において、中小受託事業者との書面合意がある場合であっても、減額に該当する旨を明記。

【運用基準（案）】金型等の無償保管に関する考え方 企業取引研究会報告書において、中小受託事業者に対し金型等を保管させる行為は、金型等の所有権の所在にかかわらず本法上問題となり得る旨整理すべきとされたことに加え、令和7年5月1日に型無償保管に関してQ&Aが改訂されたことも踏まえ、金型等を委託事業者が所有する場合のほか、中小受託事業者が所有する場合であっても、委託事業者が事実上管理しているとき（例えば、その廃棄等に委託事業者の承認を要する等の事情が認められるとき）には、当該行為が不当な経済上の利益の提供要請の禁止として問題となることを運用基準に明記。



グリーンプリンティングニュース

2025GP環境大賞等表彰式・ 「印刷と私」トークショー開催

日印産連は、去る10月15日(水)、出版クラブホール(東京都千代田区神田神保町)において、「2025GP環境大賞等表彰式」、「印刷と私」トークショーを開催し、終了後に懇親会を開催した。

今回は、受賞企業・団体の代表者の他、GP推進部会・ワーキンググループ委員、認定委員、審査員、報道関係者に加えて、小山薫堂グリーンプリンティングPR大使、「印刷と私」トークショー・ゲスト、ノンフィクション作家の野地秩嘉(のじ つねよし)氏をお招きして、約120名が参加した。



GP環境大賞等表彰式

日印産連副会長・添田秀樹氏による開会挨拶の後、GP環境大賞各賞、GPマーク普及大賞各賞、GP資機材環境大賞各賞の順で表彰が行われ、代表者から謝辞をいただき、最後に小山薫堂PR大使の挨拶をいただいた。

開会挨拶(日印産連副会長・添田秀樹 氏)

まずは、各賞を受賞される皆さま、この度は誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。また、ご関係の皆さま方には、平素からグリーンプリンティング認定制度にご理解とご協力を頂き、重ねて御礼を申し上げます。

本日は皆様のお力添えのもと、このように表彰式を開催できますこと、深く感謝申し上げます。

改めまして、GP認定制度についてご紹介しますと、遡りますこと2001年、環境配慮への社会的な要求に応えるため、環境に対する印刷産業の自主基準である「印刷サービスグリーン基準」を制定し、その後の2006年に、この基準を達成した印刷工場、印刷製品、印刷資機材に対し、評価と認証を与える制度を順次スタートさせました。2015年には、GP認定制度の枠組みの中で、当制度の趣旨をご理解され、ご尽力を特に頂いておりますクライアント企業様を表彰させて頂く「グリーンプリンティング環境大賞」を創設し、併せて、GPマークの普及を積極的に推進されている事業



所を表彰する「GPマーク普及大賞」、環境負荷を軽減する資材や機材を提供されたメーカー様を表彰する「GP資機材環境大賞」をそれぞれ設け、以来、表彰させて頂いております。

また、本日ご列席の小山薫堂様には、GP制度のより一層の認知のために、2016年より「グリーンプリンティングPR大使」にご就任頂き、普及拡大に努めて頂いております。

小山様は、皆様ご存じの通り、一昨日閉幕した大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「EARTH MART(アースマート)」をプロデュースされており、大変お忙しい中、本日までご参加を頂いております。

更に、表彰式後のトークショーでは、小山様とノンフィクション作家の野地秩嘉(のじ つねよし)様から、印刷に纏わるお話を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

さて、私ども日本印刷産業連合会は、クライアント企業様へGP制度の認知を更に進め、GP認定工場へ印刷物をご発注頂くことにより、サプライチェーン全体での環境への負荷低減を目指しております。

本日受賞された皆様、並びにご関係の皆様方に於かれましては、引き続きGPマークのより一層の普及にご尽力を賜り、印刷産業における環境課題の解決にお力添えを賜りたく、改めてお願いを申し上げます。と開会挨拶を述べた。

- ◆GP環境大賞は、GPマーク表示印刷製品を数多くご発注されたクライアント企業・団体に対して、感謝の意を込めて授与させて頂くものです。GP環境大賞を過去3回受賞したクライアントには、4回目の表彰時にその活動に対して最大の賛辞と敬意を表するために「GP環境大賞ゴールドプライズ」を設けています。また、GP環境大賞に準ずる賞として、GP環境準大賞を設けています。
- ◆GPマーク普及大賞は、グリーンプリンティング認定工場の中で、GPマークの表示件数が多く、GPマークの普及に貢献した印刷会社を表彰するものです。大賞を過去3回以上受賞した会社には、GPマーク普及大賞ゴールドプライズを設けています。また、GPマーク普及大賞に準ずる賞として、GPマーク普及準大賞を設けています。
- ◆GP資機材環境大賞は昨年度もっとも多くの新製品を登録したメーカー様に、授与するものです。なお、この賞には資材部門と機材部門があり、今年度から過去に受賞したメーカーも表彰対象になりました。

GP環境大賞ゴールドプライズ表彰



GP環境大賞表彰



GP環境準大賞表彰



GPマーク普及大賞ゴールドプライズ表彰



GPマーク普及大賞表彰



GPマーク普及準大賞表彰



GP資機材環境大賞表彰



GP環境準大賞・準大賞受賞代表者の挨拶

(株式会社教育芸術社 代表取締役社長 市川かおり様)

各賞の賞状の授与と記念撮影が終わると、受賞者を代表して株式会社教育芸術社の市川かおり代表取締役社長が「弊社は音楽の教科書を作る出版社。子どもたちに環境問題に少しでも関心を持ってほしいという願いを込めて、グリーンプリンティング



マークを小中学校の教科書に入れた。未来を担う子供たちのためにもますます環境に配慮した教科書を作っていきたい」と受賞謝辞を述べた。

小山薫堂グリーンプリンティングPR大使の挨拶

表彰式の最後には、2016年からグリーンプリンティングPR大使を務める、放送作家・脚本家の小山薫堂氏が登壇。大阪・関西万博でシグネチャーパビリオン「EARTH MART」をプロデュースした小山氏は「万博で気付いたことが二つある。リアル



に集まることの重要性、これは人が新しい絆を作っていくうえで本当に大事なこと。もう一つは、世の中には立場の違う人、違う価値観を持った人がたくさんいると認め合うこと。それを理解したうえで一緒に行動を起こす。例えばグリーンプリンティングも立場の違う人を同時に表彰している。立場は違えど思いは一つ。グリーンプリンティングという、もしかしたら大屋根リングよりもっと大きな円の中で皆が集う。大切なことは一緒の場所で同じ感動を共にすること。それで絆が深まる。印刷物というのは色々な人の心をつないだり感動を与えたりする媒体。世の中の感動を作る。それが絆を深め、ひいては未来の社会を作っていく」と閉会挨拶を述べて式を締めくくった。

「印刷と私」トークショー

表彰式終了後は、恒例の小山薫堂PR大使がゲストと印刷にまつわる話を繰り広げる、「印刷と私」トークショーが行われた。今年のゲストは、ノンフィクション作家の野地秩嘉(のじつねよし)氏。『キャンティ物語』『サービスの達人たち』『TOKYOオリンピック物語』など、さまざまなジャンルの著作があるが、この日の出席者の多くが企業経営者として、近著の『トヨタ物語』『伊藤忠 商人の心得』の取材で得られた企業経営に関する知見を紹介。

世界中で当たり前に使われているQRコードの生い立ちがトヨタの生産現場のカイゼンだった話を皮切りに「い



い会社には(技術革新とは違う)イノベーションがある」「発見とカイゼンとは」「サラリーマン社長は社会のために考えた方が長続きする」「伸びる会社は長期で経営を考える」など、トヨタと伊藤忠の具体例を列挙して“良



い会社”について語り合った。

最後に小山氏から「良い会社になるためには何から始めたらいいですか」と尋ねられると、野地氏は「まずは労働環境の整備。伊藤忠の岡藤会長は社員が働きやすい環境をいかにして作るかしか考えなかった。次に就職人気を上げる。優秀な女性が来るようにする」と即答。

会場の参加者の多くが「なるほど!」と深くうなずき、盛大な拍手の中、トークショーを終了した。



懇親会



乾杯挨拶 株式会社文伸
代表取締役社長 川井伸夫様

トークショー終了後、参加者、小山薫堂PR大使、野地秩嘉氏を交え、懇親会が開催された。

今年度GPマーク普及準大賞を受賞され、永年に渡りGPマーク普及に多大なる貢献をいただいている株式会社文伸の代表取締役社長 川井伸夫様の乾杯挨拶で始まり、クライアント企業・団体、印刷会社、製本・加工会社、資機材メーカー、GP審

査員、認定委員、推進委員等、立場の違う人たちが絆を深め、GPマークの普及拡大を誓い合った。

最後にGP推進部会長の全国グラビア協同組合連合会理事・吉原宗彦様による中締め挨拶で全員がGPへの思いを一つにした。



懇親会中締め挨拶
全国グラビア協同組合連合会
理事 吉原宗彦様

新たなビジネス事例

印刷イノベーション

出版ビジネスのデジタル改革例

デジタル化で出版の サプライチェーンに革新もたらす

株式会社フォーネット社(東京都)

株式会社フォーネット社は、2002年5月に製本会社3社が統合して設立した会社で、長年「出版の製造・物流」を支えてきた。近年、出版のアナログ構造が限界を迎え、デジタル化が不可避になっている中で、いち早くRFIDタグの装着設備を導入した。RFIDタグによる持続可能な出版流通を目指し、また、顧客である出版社の製本印刷から物流、さらには業務のIT化、デジタルコンテンツ制作までトータルでデジタル化を支援し、製造業を通じて出版のサプライチェーンに革新をもたらしている。

株式会社フォーネット社は、グループ会社に製本事業を担っている永井製本株式会社、児童書の出版を行っている株式会社えほんの杜、漫画や単行本の出版ならびに編集プロダクションである株式会社ジータ、商品の検品や手作業によるパッケージング、アッセンブリ、発送業務を行うコスモ運輸株式会社の4社を保有して、それぞれの専門性や強みを活かして事業を展開している。

フォーネット社のビジョンは、製本技術を継承しつつ最新技術とクリエイティブな発想で、アナログとデジタル技術を融合させ、未来のコンテンツを支え、革新的なプラットフォームを創造することである。

高橋史幸社長は「弊社は製本業を通じて次世代へ引き継ぐ架け橋となることを使命としています。『出版の、その先のステージへ。』をミッションに掲げ、技術の進化と共に、お客様の多様なニーズに応えるために革新と品質を追求しています」と、経営理念について話す。

製本・印刷事業を展開している上尾工場では雑誌やコミックの製本を行っているが、モットーとしていることは、高い品質とスピーディな納品で顧客のサポートに努めることだという。

輸送会社と業務提携し物流力を向上させる

近年は、とりわけ物流基盤の強化に注力しているという高橋社長。従来はコスモ運輸が出版関連の輸送、倉庫管理、在庫管理を担って、フォーネット社の出版の物流面を支えていたが、2023年4月に主に一般貨物輸送を行っている株式会社森田産業運輸(本社:東京都足立区江北2-25-10、代表取締役社長 森田 浩史)と業務提携した。

「森田産業運輸さんは、強大な輸送力で新たな事業領域を開拓している会社です。これは弊社と共通する経



トラックの台数が増え輸送力が強化

最前線!

第3回

この連載では、既存の印刷製品の優良事例や非印刷領域における先端事例を紹介します。

営理念ですから、業務提携によって出版業界の課題を解決するだけでなく、両社の経営資源を活用してシナジー効果を最大化し、サプライチェーン改革および持続的なビジネスモデルの構築を実現できるようにしています」(高橋社長)と、業務提携による効果に期待している。

「コスモ運輸」社だけでは輸送力に懸念があったため、輸送力を強化するために森田産業運輸と業務提携したというのが本音です。2社体制で120台ほどのトラックとドライバーを確保することができ、出版物の輸送を拡大できるようになりました」と、小倉専務取締役はドライバーの確保が重要だった点も指摘する。

製造面ではさらなる進化を目指して

製本事業の次のステージとして、同社では時代の流れに合わせて出版コンテンツやシステム構築による「出版×デジタル」戦略に積極的に取り組んでいる。

期待されているのが大手出版社と共同開発した世界初のコミック専用ラベラー一体型フィルムパックシステムである。このシステムは大手出版社から依頼を受け、同社が一貫して構築した。

「以前、大手出版社と話をしていた時に、本がむき出しのまま梱包するのは良くないとなって、パッケージングすることになったわけです。フィルムパックはさまざまな付録や販促物をスピーディに同梱できる機械なので、出版社の企画販売に貢献できています」(小倉専務)と、開発理由を述べる。

これにより、コミックだけでなく各種書籍まで対応可能となった。また、特筆すべきは、2023年8月に



フィルムパックにアクティベーション機器を導入

スタートしたコミックへのRFID(Radio Frequency Identification)タグ装着に合わせて、アクティベーション(商品を認証し有効化する)機器をフィルムパックシステム全ラインに導入したことである。

インライン上でRFIDタグ装着を実現する

「弊社のRFIDタグシステムは、インライン上で生産スピードを落とさずに、RFIDタグをコミックのフィルムパックに装着することで、本の情報を紐づけたシステムになっています。RFIDタグシステム自体は専門の会社が開発しており、そのシステムを弊社の製本ラインに搭載しています」(小倉専務)。

「市場にあるアクティベーション装置は単体機としては存在していますが、フィルムパックとアクティベーションを同時に実施できるシステムの開発は弊社が初めてです」(小倉専務)と、同社のRFIDシステムの優位性を強調する。

「以前は出版社の倉庫に戻ってきた本は、カバーの刷り直しや検品・改裝作業を多くの人手で行っていました

新たなビジネス事例 印刷イノベーション最前線!

が、ムダが多いと感じていました。これらの作業を無くすことができれば相当効率化できると考え、最終のパッケージングまで自動化することにしたのです。これでコスト削減できて、出版社に付加価値を提供することが可能になりました」(高橋社長)と、第三者の視点からシステム開発に至ったと話す。



(株)フォーネット社のエントランス

■出版社のDXプラットフォーム企業へ進化

さらに、出版工程のデジタル化を推進する基盤として、同社はデジタル事業部を発足させ、出版社のDX改革を支える事業部としての役割を担っている。

各種システム開発や保守、マーケティング支援、Webサイト制作、Webシステムの構築・運用、コンサルティングなどの幅広い事業を出版業界中心にビジネスを広げている。まさに「製造・流通をデジタル化する」ための業務体制の再構築を担っているのがデジタル事業部というわけだ。

「以前、IT事業やWeb事業を展開していた関連会社を事業統合し、出版やエンターテインメント分野に特化しよう舵を切りました。今ではECやWebサイト制作、Webマーケティング支援など、これまで培ったノウハウを活かして、出版業界のデジタル関連ソリューションはもちろんのこと、他業界の案件も手掛けています」(小倉専務)と、デジタル事業部について説く。

また製造面では昨今デジタル印刷機の台頭で、製本工程の技術革新が問われている。「デジタルメディアが

普及しても、紙の出版物は絶対に必要だと考えています。そのため常にアンテナを張って、出版社は何をしたのか、どのような課題があるのかを理解し、企画・提案していけるよう業務に臨んでいます」(高橋社長)と、あくまでも紙の出版文化を担う一翼であることを強調する。

一方で「デジタル小ロットコンテンツが主流になってきている現在、最適なシステムを開発し提供することで他社と差別化を図り、お客様が必要とする環境を提供していきたい」(高橋社長)と、システム開発には余念がない。

今後は必要な小ロットを短納期で生産し届ける仕組みづくり、在庫コスト・返品削減等が出版業界の課題であるが、同社は物流・製造・販売にわたってシームレスにデータを連動させて、「必要な本を、必要なタイミングで、必要な場所に届ける仕組みを構築する」「出版社だけでなく、書店、取次、印刷会社など全体に波及する変革の担い手になる」点を掲げている。これをサステナビリティ経営の下で出版社の事業に貢献していくという。

最後に高橋社長は「グループ会社の横のつながりを強化・連携し、物流事業とデジタル事業を発展させ、デジタル化という大きな流れの中で新たな挑戦に挑み、出版産業をアップデートしていきたいです。そして、デジタル技術で出版サプライチェーンを変える企業になります」と、意思を述べた。

株式会社フォーネット社

所在地：東京都文京区音羽2-4-2ノーブル音羽301

代表者：代表取締役社長 高橋 史幸

創 業：2002年

U R L：<https://www.fournetsha.co.jp>

個人情報保護マネジメントシステム内部監査員セミナー 2026年2月27日(東京) 開催のお知らせ

昨年ご好評いただいたセミナーを、今年度も開催することが決定しました。

個人情報保護マネジメントシステム(PMS)が組織に貢献するためには、PDCAサイクルを確実に回し、継続的に改善することが求められます。内部監査は、PMS全体をチェックする重要な役割を担っており、PMSが有効に機能するための大切なプロセスとなります。

当セミナーは、印刷現場での事例を盛り込んだ実践的な演習や模擬監査まで行い、PMSの改善を提案できる監査員の養成を目的に実施いたします。より充実した内容で、皆様のご参加をお待ちしております。

研修内容

- 内部監査に関する一般知識(用語の定義、内部監査の必要性や着眼点等)
- 構築・運用指針要求事項の解説(コアプロセスの不適合の事例と対策等)
- 内部監査の方法及び関連プロセスの手順を説明(監査フローとその解説)
- 模擬監査(ロールプレイ、監査員と監査を受ける部署の両方を体験)

開催概要

- 開催地：日本印刷会館 2 階会議室 <https://www.jfpi.or.jp/kaikan/>
- 開催日：2026年2月27日(金)
- 開催時間：10時00分～17時00分
- 受講料：10団体の会員及び日本印刷産業連合会で審査を受けている事業者 …… 1名につき 15,000円(税別)
それ以外の方 …………… 1名につき 30,000円(税別)
- 締切日：2026年2月13日(金)
- お申込みURL：<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=8263>



プライバシーマーク付与事業者のご紹介

2025年9月～2025年11月に日印産連プライバシーマーク審査センター審査委員会において、プライバシーマーク付与適格決定を受けた事業者は以下のとおりです。

〈第214回審査委員会 2025年9月30日(火)開催〉

【更新事業者】中笠総合印刷株式会社、TOPPAN株式会社、株式会社淀川工技社、沖縄高速印刷株式会社、株式会社アイワード、高速印刷株式会社、昭栄印刷株式会社、株式会社プレジデント社、株式会社DNPホリーホック、株式会社羽生、青柳印刷株式会社、高桑美術印刷株式会社、合同会社オンデマンド

〈第215回審査委員会 2025年10月20日(月)開催〉

【更新事業者】三条印刷株式会社、株式会社トゥ・ディファクト、斎藤コロタイプ印刷株式会社、株式会社DNPコミュニケーションデザイン、コトギ印刷株式会社、鈴木印刷株式会社、とうざわ印刷工芸株式会社、日宝綜合製本株式会社、株式会社エス・ワイ・エス、共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社、新灯印刷株式会社、川口印刷工業株式会社、東京速水印刷株式会社

〈第216回審査委員会 2025年11月17日(月)開催〉

【更新事業者】昭和印刷株式会社、アロー印刷株式会社、野崎印刷紙業株式会社、株式会社藤本コーポレーション、たつみ印刷株式会社、株式会社千修、杜陵印刷株式会社、株式会社山之内システムサービス、エスピーシー株式会社、株式会社DNPフォトイメージングジャパン、中西印刷株式会社、株式会社高陽印刷所、株式会社桐原書店、株式会社ウィザップ、カワセコンピュータサプライ株式会社、株式会社DNP四国

情報セキュリティに関する活動のご紹介

2025年は、大手飲料メーカーや通信販売業者のランサムウェア被害と復旧に向けたニュースが長きに渡って報道され、サイバー攻撃に対する恐怖が高まった方も多いと思います。

いくら技術的対策レベルを上げても、従業員がフィッシングメールやフィッシングサイトにだまされて、IDやパスワードを盗まれてしまうと、せっかくの投資が水の泡になってしまいます。サイバー攻撃のリスクを低減するためには、すべての従業員がセキュリティに対して正しく理解することが大切です。

そこで日印産連では、印刷業界全体の情報セキュリティに関するリテラシー向上にむけて、以下の活動を行っています。

- ① 一般向けコンテンツ作成
- ② 経営者向けコンテンツ作成
- ③ 経営者・情報セキュリティ担当者向けセミナー（web開催）
- ④ 一般向け基礎セミナー（web開催）

これらは、日印産連のホームページに掲載していますので、社内教育用資料としてご活用ください。

このボタンをクリックすると、下のページに飛びます。



青字をクリックすると、コンテンツや案内を見ることができます。

印刷工業会

「2025年 年末会員懇談会」を開催

2025年12月5日(金)、印刷工業会年末会員懇談会を東京・赤坂の明治記念館で開催いたしました。第一部では、富士2の間にて講演会を実施。講師には柔道家でロンドンオリンピック銀メダリストの杉本美香氏をお招きし、「個の育成術 ～スポーツの環境から学ぶコーチング～」をテーマに、1時間にわたりご講演いただきました。

杉本氏からは、2012年ロンドンオリンピックで銀メダルを獲得後に引退されたのち、筑波大学大学院でコーチングを学ばれたこと、企業チームの監督として選手間の価値観の違いに向き合い、部の方針や挨拶など基本的なルールを整え、自ら継続して示すことで選手の意識を高めたことなどについてお話いただきました。また、目標設定の支援や丁寧なコミュニケーションを通じて相談しやすい環境をつくり、チームの一体感と成長につなげた取り組みが紹介され、145名の参加者が熱心に耳を傾け、大盛況のうちに終了いたしました。



講演する杉本美香氏

第二部は蓬萊の間において、会員会社23社 140名の皆様にご参集いただき、懇親会を開催しました。開会にあたり磨会長は、2025年の日本経済は物価上昇や人手不足といった課題があるものの、インバ



開会の挨拶をする磨会長

ウンド需要や賃上げによる所得改善に支えられ回復基調となったこと、また多言語対応などインバウンド関連を中心に印刷産業にも新たな機会が広がっていることに触れました。そのうえで、印刷業界は受注型から脱却し、情報価値を創造する高付加価値産業へ進化し、社会や企業をつなぐ新たな価値提供が求められると述べました。

続いて来賓を代表し、経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課 文化創造産業海外需要開拓室長の荻野様より、日本経済の持続的成長には賃上げが不可欠であり、そのためにはサプライチェーン全体での価格転嫁と取引適正化が重要で



来賓代表挨拶の荻野氏

あるとのお言葉をいただきました。また、印刷企業の皆さまには発注元とも連携し、これらの取り組みを積極的に進めてほしいとお言葉を賜り、続けて乾杯のご発声いただきました。その後は、会員同士で懇親を深める有意義な時間となりました。

全日本印刷工業組合連合会

10月10日(金)東京會館にて、 全印工連創立70周年記念行事を開催

全日本印刷工業組合連合会創立70周年記念行事が10月10日、東京都千代田区の東京會館で執り行われ、全国から860人が集い、“Reboot the Print! 印刷のチカラ、再起動!”をコンセプトに70年の歩みを振り返るとともに、未来に向けて想いを馳せた。



記念式典 瀬田会長挨拶

全印工連は1955年に全国の調整組合が集結し、全国団体として発足。この間、先人たちが幾度の変革期を乗り越え、時代のトレンドを掴みながら印刷産業発展の基盤を整備し続けてきた。創立70周年記念行事では武藤経済産業大臣にもご臨席頂き、記念式典・表彰式で業界発展の功労者を表彰。講演会、記念パーティーを通して、70年間にわたり苦難を乗り越え歴史を紡いできた先人に感謝し、全国から集った仲間と次代への一步を踏み出した。

記念講演会ではメディアアーティストで筑波大学准教授の落合陽一氏が『印刷産業の近未来』を演題に、“文明が進化しても、人類はほとんど進化していない”という視点をもとに、コミュニケーションの本質に切り込んだ。

落合氏は大阪・関西万博のプロデューサーの一人としてシグネチャーバビリオン「null2 (ヌルヌル)」を手掛けた。講演会では、AIが生まれながらにあるデジタルネイチャーの世界観の解説を皮切りに、鏡面幕を使った大阪・関西万博のバビリオン『null2』のコンセプトや製作過程、“祭り”としての万博の意義、AIが抱えるセキュリティの課題などについて語った。また、ショート動画を生成するAIを挙げて、「人間がまだ見ぬコミュニケーションをするための媒体の技術や文化がどう変わっていくか。印刷業のコンピュータ周りの技術において重要な課題になっていると思う」と述べた。

続いての記念パーティーは組合員・関係者860人が集い、盛会裡に終了した。

経済産業大臣表彰



日本フォーム印刷工業連合会

市場委員会 主催「フォーム印刷業界の現状と課題に関する調査報告会」を開催

市場委員会（小島勝也委員長）は10月21日（火）午後3時より日本印刷会館にて、「2025年フォーム印刷業界の現状と課題に関する調査報告会」をハイブリッドで開催し、全国の会員を中心に約110名が参加した。第1部では、小島委員長より8月に実施した会員アンケートをベースにその調査結果が報告され、第2部では、JAGAT 藤井建人氏より「JAGAT印刷マネジメントブック2025」から印刷産業全体の状況の解説があった。

印刷会館での報告会



■【第1部】

フォーム印刷業界の現状と課題に関する調査報告

小島委員長は、「会員の皆様は、共通課題の情報提供や共有を通じて一緒に取組み、その活動が少しでも会員企業の事業活動の一助になればと、メンバーは日々考えております。また、我々ビジネスフォーム業界は、印刷業界の中でも強みのある業界です。それは、顧客接点の中でも、ユーザー企業の中心部署との接点が多いことで、ユーザーが求めていることや課題解決のヒントに直に接することが出来、ビジネスとしての良いチャンスとなりチャレンジができることです。是非、皆さんと一緒に成長できるように取組んで行きたい」と話した。

市場委員会：小島委員長、岩崎委員



■【第2部】「JAGAT印刷マネジメントブック 2025

—2024年度 印刷産業経営力調査 報告書—」について

藤井氏は、今回の調査は106社の回答をベースに、企業価値を「価値（仕事）はなぜ、どう生まれるのか」、「価値をどう評価するのか」、「価値をどのように交換するのか」という3つのテーマでまとめ、「これからの顧客との関係性は、発注者から仕様を受ける『印刷請負型』から、顧客と共に課題を共有し、価値を共創する『共創型』へと移行することが大切である」と解説を結んだ。

JAGAT 藤井建人氏



日本グラフィックサービス工業会

日本自費出版文化賞の作品募集開始
自費出版物に光をあてる

弊会主催、NPO法人日本自費出版ネットワークが主管する第29回日本自費出版文化賞の作品募集が開始となりました。

本文化賞は、人々の目にふれにくい自費出版物に光をあて、著者の功績をたたえ、自費出版の評価・活性化を促進しようとするものです。併せて、NPO法人日本自費出版ネットワークのホームページによる自費出版データの蓄積・公開活動と連動させ、日本の自費出版文化を育み広めるものです。

応募資格は、制作費用の全額または一部を著者（個人・団体）が負担、日本国内で2016年以降に出版されたもの、主として日本語で書かれた一般書、製本された書籍が対象となります。

締切は26年3月31日（当日消印有効）です。

入選結果は9月5日に開催される最終選考会終了後の記者会見で結果が発表され、2026年11月7日にアルカディア市ヶ谷で表彰式が執り行われます。

大賞には賞金20万円が贈られるほか、今回も色川大吉賞、部門賞などを用意しています。残念ながら28回は入賞作品なしということでしたので、今回は是非、大賞を狙ってご応募ください。

応募方法の詳細は、日本自費出版ネットワークホームページ（<https://www.jsjapan.net/>）をご確認ください。

page2026に出展へ
ジャグラの諸活動をPR

2月18日から20日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで開催される、日本印刷技術協会主催のpage2026に、今年もジャグラは出展します。ブースでは、ジャグラ



前回page展のジャグラブース

コンパクトDX事業の成果をはじめ、今業界団体に入る価値を来場される印刷関連業の方々にご提示します。出展メーカー、ベンダーの皆様も様々な情報交換をさせていただきますので、ブースにお立ち寄りいただければ幸いです。

全日本製本工業組合連合会

「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典！～」開催 東京都製本工業組合がブース出展

東京都千代田区・丸の内の東京国際フォーラムホールEにて、10月29日～30日の2日間にわたり、「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典！～」が開催された。本イベントは、東京都中小企業団体中央会が「中小企業受注拡大プロジェクト」の一環として主催。東京を拠点に、全国の中小企業組合を集めて「技（技術・ものづくり）」「食（食品・地域物産）」の魅力を発信、組合の知名度向上や販路開拓を図ることを目的としており、今回9つのカテゴリー（モビリティ／ものづくり／くらし／アミューズメント／伝統工芸品／食品／伊豆・小笠原諸島／経済／全国物産）にわたる展示が行われ、東京と全国の「技」と「食」が一堂に会した。

今回、東京都製本工業組合として組合まつりにて初のブース出展を行った。出展に先立ち、東京工組は教育労務・専門校委員会に、このイベントのまとめ役を委ねた。同委員会は協議を重ね、組合員に出展スペースを提供し、各企業の自社ブランドの委託販売を行う計画を提案。案内を各社にお送りしたところ、7社の組合員企業（渡邊製本株式会社、柿沢憲専堂製本株式会社、有限会社中正紙工、株式会社キョーダイ社、株式会社清美堂、もがみ紙工有限会社、もがみ紙工有限会社）が出展参加に手を挙げていただいた。イベント当日は、各社キャッチーで独自のセンス溢れる製品や、技術の高さを伺えるアイテムがズラリと並び、多くの来場者が足を止め、製品が放つ魅力を実感していた。



出展ブースの様子

全日本シール印刷協同組合連合会

JFLPでは「世界ラベルコンテスト 2025」で5作品が入賞

L9（世界のラベル協会）主催の「世界ラベルコンテスト2025」は、2025年9月スペイン・バルセロナにて開催され、JFLP（日本）をはじめとして、FINAT（欧州）、TLMI（北米）、FPLMA（豪州）、SALMA（ニュージーランド）、CPA（中国）、LMAI（インド）の世界のシールラベル印刷7団体が参加して行われた。

審査員による、カテゴリー1から順にカテゴリー24まで審査を行い「サンプル配布と説明」「各審査員からのコメントや指摘」を経て「審査員全員の合意」によってそれぞれの結果が決まり、その結果が10月30日にニュースリリースされた。

全日本シール印刷協同組合連合会（JFLP）からは4部門で「最優秀賞」、1部門で「審査員特別賞」の合計5部門で入賞した。

「最優秀賞」はレタープレス・カラープロセス部門～株式会社九州クラフト工業、レタープレス・ワイン酒部門～株式会社サトー、複合・ワイン酒部門～株式会社サンメック、インバージョン部門～株式会社金沢シール。「審査員特別賞」はオフセット・ワイン酒部門～進和ラベル印刷株式会社。

また、印刷方式毎に発表される「Best of the Best」は2026年1月若しくは2月に発表の予定。

なお、入賞社の5社5作品には世界ラベルコンテスト審査会からトロフィーが授与される予定で、そのトロフィー授与式は2026年5月29日に行われる当連合会通常総会後の懇親会の冒頭に授与する予定。



株式会社サトー



株式会社九州クラフト工業



株式会社金沢シール



株式会社サンメック



進和ラベル印刷株式会社

全国グラビア協同組合連合会

定例理事会を開催

全国グラビア協同組合連合会は、2025年11月6日(木)12時より、第一ホテル両国「楓BCD」にて定例理事会を開催しました。理事17名、顧問1名、報道1名が出席しました。

理事会に先立ち、全グラ活動に多大なる貢献を頂いた竹下晋司前副理事長が去る11月1日(土)にご逝去されたため、1分間の黙祷を行い、ご冥福をお祈りしました。

田口会長より、竹下前副理事長がグリーンプリンティング普及活動や大阪にて外国人技能実習制度試験場を立ち上げる等の苦労話や思い出話を披露して挨拶が始まりました。また、業界内で倒産企業が出てしまった事は氷山の一角で、業界に於ける利益確保は益々厳しさを増している事等に言及し、適正な収益確保をした上で機械のメンテナンスを行い、持続性があり、魅力ある業界を築きあげることが重要であると述べられました。



田口会長

各地方単組からの近況報告から議事を始めました。FACE TO FACEでの意見交換の重要性を噛み締めつつ、地方毎の景況感の違いを実感しました。北海道の若狹理事長からは、来年度全グラ総会・懇親会の計画が報告されました。インバウンドの影響で、ホテルの確保が難しく、価格も高価となっているだけでなく、観光バスの手配や観光地でのチケット確保、団体見学お断り等で苦労されている事が伝わりました。上半期の決算報告、2026年賀詞交換会計計画報告の後、山下理事より日印産連GP表彰式・グリーンプリンティング新規認定工場の報告がありました。印刷技能人材機構理事会報告、技能実習試験状況、JAIM・育成就労制度への移行状況等外国人雇用に関する説明を行った後、吉原理事長が「中小企業の皆様に役立つ価格交渉講習会」の報告をしました。最後に、安永副理事長が「取適法」「下請振興法改正」について詳しく説明し、閉会しました。短時間の割には議題が多く駆け足となりましたが、内容的には充実した理事会となりました。



日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会

GC東京人材育成事業委員会主催『スクリプトセミナー』をWEB開催

10月20日にGCJ会員向けに『2時間の仕事が5分で終わる!? スクリプトで作業を効率化! “GCJスクリプトセミナー第2弾!”』を開催。昨年10月に第1回を開催したところ、キャッチに偽りなし! 続編を期待するとの声が多く寄せられたため第2弾を開催した。初心者向けに一方通行ではなく講師と受講者がパソコンを操作しながら学んだ。組合員以外の受講も多く、好評裏に終了した。アンケートの声を元にシリーズ化も視野に続編を検討中。乞うご期待。

GC中部主催、GC東京価値共創事業委員会共済でセミナーをWEB開催

続いて10月23日『プリプレス職場を価値共創で未来に』を開催した。昨年、生成AIの活用術を説き好評を博した大橋講師による、プリプレスを生業とする私たちの進むべき方向を、印刷の歴史からAI活用に至るまでを壮大なストーリーとともに語る示唆に富んだ内容だった。

第3回 GCJ理事会WEB開催

11月26日 GCJ理事会を開催。

各事業委員会報告、日印産連委員会報告、各地区工組からの報告に続き、協議事項として組織再編と来年11月開催のGCJ全国大会について意見交換が行われた。

GC東京主催『忘年会2025』開催

12月18日 GC東京主催、東京プロセス工業協同組合、GC青年会共催による『忘年会2025』を日頃ご協力いただいている賛助会員の方々と交えて、70名参加のもと、大正ロマン漂う銀座ランプ亭で開催した。GC青年会をはじめ、世代を超えた交流が図れた。



錦山理事長の開会式あいさつ



原田GC青年会会長の活動報告

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

「SILKSCREEN TRIAL 2026」の ご紹介

来年2026年に創立60周年を迎える、学校法人桑沢学園東京造形大学は、当連合会の協力の下、創立60周年記念事業「SILKSCREEN TRIAL 2026」を推進している。本プロジェクトは学生と連合会会員企業の共同制作により、スクリーン印刷における新しい表現の発掘を目的としている。

現在、同大学の学生から「スクリーン印刷の技術を必ず使用すること」を条件に、作品のアイデアを募集している。2026年1月23日に募集を締め切り、3月に審査、審査を通過したアイデアを4月から10月にかけて印刷し、作品を完成する。11月には桑沢学園の新教育施設にて、完成した作品の一般公開を予定している。

募集に先立ち、「SILKSCREEN TRIAL 2026」の学内説明会が、2025年11月21日(金)に東京造形大学において開催された。当日は生嶋順理学長や関係者の立ち会いのもと、100名以上の学生が参加。連合会会員6社が技術紹介とサンプル展示を行い、学生たちはスクリーン印刷が有する素材の幅広さや商品の多様さに関心を示し、展示サンプルを前に活発な質疑応答が交わされた。連合会は学生の熱意と鋭い反応に感銘を受ける一方、学生はリアルな技術に刺激を受け、共に連携強化による協働に期待が膨らむ一日となった。



全日本光沢化工紙協同組合連合会

第74回 中小企業団体愛知県大会 愛知県知事賞 受賞（優良組合）

全日本光沢化工紙協同組合連合会傘下の中部光沢化工紙協同組合は10月23日(木)名古屋マリオットアソシアホテルにて愛知県中小企業中央会が主催する愛知県大会にて優良組合として愛知県知事賞を受賞いたしました。

平成4年4月に組合を設立して以来、共同事業を推進し、組合員の地位向上や基盤の充実に寄与していること、毎年各種研修会（軽減税率、インボイス制度等）を開催し、組合員への情報提供に努め、例会、理事会なども定期的に開催して組合内での意思疎通を図り円滑な組合運営に努めていることが認められました。

特に組合設立後33年間に全国大会を8回開催し、その時に合ったテーマを取り上げ全国に発信してきました。カラーコーディネート、トヨタ生産方式、光沢化工の品質基準、デジタル化による印刷業界の動向、震災とBCP対策について、多様性が求められる社会情勢でのSDGsへの対応、DXによる事業効率化と補助金利用などの基調講演は、全国の組合員にその後の経営課題として繋がりました。当組合員からも品質基準の統一やSDGsに取り組む会社、BCPに取り組む会社ができ組合員同士の連携が出来ました。

今年は34期目を迎え、今後40期、50期と益々成長していけるよう組合員一丸となって努力、協力し合い組合の発展につなげていく良い機会になりました。



2025年10月 Oct. 2025

2(木)	グリーンプリンティング制度概要説明会	*
9(木)	第6回 グリーンプリンティング推進部会 GP周知活動WG	*
15(水)	2025 GP環境大賞等表彰式・ 「印刷と私」トークショー	出版クラブビル
16(木)	グリーンプリンティング認定工場更新説明会 オフセット印刷部門	印刷会館 202・203
	第3回 環境自主行動計画推進WG	日印産連会議室 *
20(月)	第215回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室
	プライバシーマーク審査員勉強会	日印産連会議室 *
21(火)	グリーンプリンティング申請書作成説明会	*
22(水)	第1回 環境表彰制度検討WG	印刷会館 203
23(木)	グリーンプリンティング認定工場更新説明会 グラビア印刷部門	*
30(木)	GP認定工場交流会	*

2025年12月 Dec. 2025

2(火)	第7回 グリーンプリンティング推進部会 GP周知活動WG	*
	グリーンプリンティング制度概要説明会	*
3(水)	情報セキュリティ部会	日印産連会議室
10(水)	全国カレンダー展審査会	共同印刷
15(月)	マスコミ懇談会	日印産連会議室
17(水)	第2回 知的財産部会	日印産連会議室
18(木)	第81回 グリーンプリンティング工場認定委員会	*
22(月)	第217回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室
	第72回 プライバシーマーク審査員研修会	日印産連会議室 *
23(火)	グリーンプリンティング申請書作成説明会	*

*WEB開催、併用の会議

2025年11月 Nov. 2025

4(火)	グリーンプリンティング制度概要説明会	*
5(水)	「全国カタログ展」審査会	共同印刷
6(木)	第2回 環境マネジメント部会	日印産連会議室 *
17(月)	第216回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室
	プライバシーマーク審査員勉強会	日印産連会議室 *
19(水)	第4回 ステアリング・コミッティ (運営委員会)	印刷会館2F 大会議室 *
20(木)	グリーンプリンティング申請書作成説明会	*
25(火)	第4回 グリーンプリンティング推進部会	*
28(金)	賃上げ確保に向けた価格転嫁・取引適正化に 関するハイレベル面談	経済産業省



事務局だより

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願い申し上げます。

年末年始休暇を終え、少しずつ日常のリズムが戻ってきた頃でしょうか。ゆっくり過ごされた方も、慌ただしく新年を迎えられた方も、それぞれの形で新しい一年がスタートしたと思います。

2025年を振り返ると、スポーツ界では明るい話題が多く、中でも大谷翔平選手の活躍は、ニュースや試合結果を見るたびに多くの人に元気を与えてくれました。日々の忙しさの中でも、思わず笑顔になったり、前向きな気持ちになった方も多いのではないのでしょうか。

そして2026年には、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックをはじめサッカーW杯、WBCの開催など、注目のスポーツイベントが控えており、また新たな感動が生まれる一年になりそうです。本年も、そんな楽しみを励みにしながら、皆さまと歩んでいければと思っています。

1月7日に開催の日印産連「2026年新年交歓会」は、無事に終わることができました。10団体ならびに関連団体の事務局の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

多くの方にご参加いただき、新しい年のスタートに皆様と交流が持てることに、喜びを感じております。

1月号の特集として「年頭所感」(P.2-3)と「2026年新年交歓会」の様子(P.4-6)を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

主催コンクール関連では、昨年11月に「第67回 全国カタログ展」、12月に「第77回 全国カレンダー展」の審査会を行いました。受賞作品や展示会の日程等、詳細につきましては日印産連HPをご覧ください。1月20日に行われた合同表彰式の様子につきましては、4月号に掲載予定です。

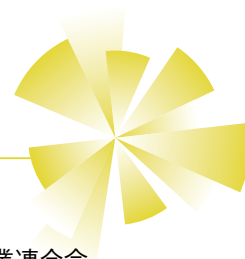
また、「第59回 造本装幀コンクール」の出品作品を募集しております(37ページに広告掲載)。

幅広い分野から、多くの作品が出品されることをお待ちしております。

次号は4月号となり、本誌の広告ページも新たな契約年度(基本1年間)となります。掲載実績のある企業様へはご案内をお届けさせていただきますが、新たに掲載のご希望がございましたら日印産連までぜひご連絡ください。

表紙デザインも4月号から、新しいデザインとなりますので、表紙にもぜひご注目ください。

本年もご支援・ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



【表紙デザイン 作家・作品プロフィール】

山本 暁

TOPPANグラフィックコミュニケーションズ株式会社 デザインセンター所属。

多摩美術大学美術学部 グラフィックデザイン学科卒業後、凸版印刷(株)入社、現在に至る。表紙デザインは、日本印刷産業連合会を構成する10団体を10の図形で表し、躍動や革新など印刷業界の未来への発展を表現した。1月号のイメージは「拡張」。

発行日 2026年1月30日

発行人 緒方 宏俊

発行所 一般社団法人 日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

日本印刷会館 8階

TEL 03(3553)6051

FAX 03(3553)6079

<https://www.jfpi.or.jp>

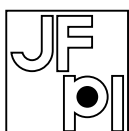


GREEN PRINTING JFPI
P-B10029

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



一般社団法人 日本印刷産業連合会
Japan Federation of Printing Industries
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内
TEL 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079
<https://www.jfpi.or.jp/>

